

(臨床研究に関する公開情報)

大阪南医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] SARS-CoV-2 ワクチンの有効性についての研究

[研究責任者] 臨床研究部長 大島 至郎

[研究の背景]

新型コロナウイルス (SARS-CoV2) は世界中にパンデミックを起こし、新しく開発されたワクチンは、パンデミックの収束において大きな役割を果たす可能性がある。従って、ワクチンの抗体誘導能の検討は重要な課題であり、抗体誘導能に影響を与える因子を調べることは意義のあることである。特にワクチンの治験では、免疫抑制療法を受けているリウマチ性疾患の患者さんについて実際に抗体誘導能が影響を受けるのかについては明らかになっていない。

[研究の目的]

SARS-CoV-2 ワクチンの抗体誘導能について、年齢、合併症や血液中の各種マーカー、ビタミン D 濃度などとの相関を調べる。薬物治療を受けているリウマチ性疾患の患者さんについて実際に抗体誘導能が影響を受けるのかについて検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

リウマチ性疾患の患者さんで、SARS-CoV-2 ワクチンを受けた方

●研究期間：承認日から西暦 2024 年 5 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：残血清（通常診療の際に採取した血液の残り）

カルテ情報：年齢、合併症や血液中の各種マーカー等

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

情報は、当院のみで利用しますが、残血清は、検体を測定する機関である大阪大学微生物学研究所に配送で提出し、測定されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表され

ますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構大阪南医療センター

臨床研究部長 大島 至郎

電話 0721-53-5761 FAX 0721-53-8904